

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターキッズ梅屋敷		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心できる通所	・不審者対策として、不審者が来た際にはどのような対応するか訓練を行う等児童が安心安全に過ごせる環境設定をおこなっております。またのびのびと過ごせるよう、各児童の意見を尊重しながら集団活動としての学びの場としています。	・避難訓練や不審者対策等の定期的な訓練を実施していくことで、様々な緊急時でも臨機応変に対応できるようにしていくとともに、児童たちとも連携していくことで、さらなる安全に繋がってまいります。
2	異学年交流	・活動内容によっては、小学生と中学生、小学生と高校生といったメンバーでペアになったり、グループ活動に取り組むことで、異学年交流をおこなっています。少し離れた年齢の児童と交流することで、社会性の学びに繋がっています。	年上の児童が年下の児童の面倒を見てあげる事で、リーダーシップや主体性を育む機会を設けていくと共に、年下の児童からもお互いに協力していけるように自身からの発信を促していくことで、チームワークを発展させてまいります。
3	将来に必要と思われる力の獲得に向けた取り組み	・中学生の利用もあることから、勉強を教えるだけでなく面接の練習の機会を設けています。また、小学生等受験生ではない児童も参加することで、将来行うことになるであろう面接の学びに繋がっています。その他、主体性を育めるよう自身から行動していけるよう促しています。	・受験に向けた取り組みをおこなっていることから、今後は就職に向けた取り組みも行っていくことで、高校を卒業した後、社会人としてのマナーや立ち振る舞いを身に付けられるようにしていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の発信	・夏祭りなどを通して地域の子供や大人との交流をおこなっています。また、保護者会後に保護者同士での交流の機会を設けていますが、存じ上げない方もいらっしゃる為。	・SNSやHUGでの発信をおこなっていますが、来ていただいていない方には保護者会での様子を別の形でお伝えするなど、発信方法を増やしてまいります。
2	事故や怪我が起きた際のやりとり	・日々の様子等、HUGを通してやりとりしたり、6か月に1度のモニタリングにおいて情報共有を行わせていただいておりますが、事故や怪我が起きた際のフローを周知出来ていない為。	・モニタリングなどを通して、怪我が起きた場合についてのやり取り方法を共有するなど、万が一に備えた対応について確認をおこなわせていただければと存じます。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会の実施	保護者の方とお話をしたり、6か月に1度のモニタリングを通して受験に関する情報等をお伝えしてはいますが、そこにとどまっている為	先輩保護者から受験についてのアドバイスを聞く機会を設けたり、受験生同士の保護者で集まり情報交換の場を設ける等、保護者の困りごとやニーズに応じて解決に繋がる場を設定していけるようにします。